

まえがき……………2

第一部 宮沢賢治の童話から「死」を考える……………15

はじめに……………17

一、「死」についての考え方、感じ方……………18

(一) 古今の聖賢の言葉……………18

◎死は分らない、恐い——常識的

◎死を乗り越えよう——宗教、哲学

◎死後生命が人生に希望を灯す

◎死は優しい

(二) 現在の日本人の「死」の考え方——アンケートから……………25

◎過半数の人が死後生存を肯定

◎ガン患者さんは死後生存肯定が少ない

◎医者が一番死を恐れる

◎死後生存を認めた 医療の可能性

## 二、「死」を描いた宮沢賢治の童話……………32

(一) 宮沢賢治の全童話を「死」で三つに分類……………32

(二) 「死」を描いた童話、二十四作品……………34

◎「死」を描いた二十四作品の一覧表

◎コメントの補足説明

◎悪い死は破滅・不幸 良い死は決死の愛・魂の救い(幸福)

◎死後が幸福を証明する

## 三、因果律(宇宙の法)を示すために「死」を描いた……………48

(一) 「因果律」と「自然」を解き明かす賢治童話……………48

◎「死」を描くことで因果律(宇宙の法)を示す——一〇〇パーセントの意味

◎人間の生き方と自然、この二つを描く——五〇パーセントの意味

(二) 因果律（生命の法）を示す動物寓話——「悪い死」の作品……………51

◎なぜ動物寓話なのか

◎壁にボールを投げるのが人生

◎「注文の多い料理店」はなぜ傑作なのか

(三) 末期の「笑い」と死後の世界で、本当の幸福を知らせる……………59

◎決死の愛が最高の愛

◎魂の浄化進化が本当の幸福

◎死後の世界を描き、生命の法を明らかにする

◎因果律は人を進化向上させ幸福に導く法

◎ネオ・スピリチュアリズムの因果の法の図

#### 四、宮沢賢治は霊の世界が見えていた……………73

(一) 心霊的体験の事実……………73

◎賢治は科学的に検証したかった

◎伝記類より

(二) 死ぬ瞬間の霊視と類似した霊視体験…………… 81

◎ 賢治が霊視した恩師の死

◎ 宮沢賢治の虫の知らせ

◎ 笠野頼子氏の祖母の通夜の体験

◎ 霊視能力者デヴィスの死ぬ瞬間の霊視

## 五、「銀河鉄道の夜」に描かれた死後の世界…………… 87

(一) 死後の世界は階層世界…………… 87

◎ 鳥捕り―自己中心の生き方をして輪廻をくり返す段階

◎ さそりの火―自己中心の生き方を反省して、今度こそ

他者への愛と奉仕に生きたいと祈る段階

◎ 青年と姉弟―状況におされて又信仰心から自己犠牲の愛を実践した人。

天上の入口で下車

◎ カムパネルラ―自己犠牲の愛を実践した。母を思う迷いを捨てた時、

天上に入る(消える)

◎ ジョバンニ―自己犠牲の日常生活をしていて、その上決死の愛の決断をした

デクノボー、すなわちどこでも（天上でも）行ける菩薩段階

◎ 霊性進化の段階図

(二) 思想がエネルギー……………95

◎ 死後の世界は思想が即実現する世界

◎ この世も思想が実体をもち働いている

◎ 愛が至高のエネルギー

## 六、死とは何か、死後の世界とは――

スピリチュアリズムから……………102

(一) スピリチュアリズムとは……………102

(二) 死とは何か……………105

(三) 死後の世界……………107

◎ 普通の善人はサマーランドに行く

- ◎死後の世界は思想の世界
- ◎死の直後の様子

七、宮沢賢治の見事な臨終……………112

美しい三十八年の生涯を想う

宮沢賢治の臨終について……………113

世にも見事な臨終……………114

聖者の風貌、そして声……………116

戦争に利用された宮沢賢治……………118

三十七歳で病没、それは敗残の身か……………120

よだか（デクノボー）となった賢治……………123

「人は霊」を確信し決死の愛に生きる……………127

宮沢賢治の臨終……………131

〔補注〕松田幸夫氏について……………138

## 第二部 最澄と銀河鉄道……………155

### 一、最澄と銀河鉄道……………156

はじめに……………157

(一) 今、銀河鉄道は現実には走っている……………160

一 「列車音」を聞いた人は沢山いる……………160

二 列車音を聞いた私自身の体験……………161

三 童話「銀河鉄道の夜」が原型となっている……………164

〔靈性進化の段階〕

(二) 「宮沢賢治は最澄の生まれ変わり」を検証する……………167

一 豊田氏の波動測定について……………167

二 モーセ（ヘブライ）から最澄（日本）への意味……………169

三 宮沢賢治は最澄の生まれ変わり——伝記的事実が示す三つのポイント……………170

① 大正十年四月——最澄の悲願を顕在意識に刻みつける

② 大正十三年五月——前世の記憶のよみがえり

③ 昭和六年十月——「雨ニモマケズ」を書き記すために

四 童話「マグノリアの木」に描かれた再生の秘儀……………182

五 宮沢賢治は靈覚者……………189

① 作品の中にあるアカシックレコードのイメージ

② 賢治が過去を読みとったという実例

六 梅原猛氏の発言——賢治は最澄の直接の後継者——……………196

(三) 最澄の思想と生涯……………197

一 最澄は日本的なるものの源流……………197

二 全人救済の悲願——「願文」から遺言まで……………199

三 忘己利他（テクノボー）の生涯と事業……………200

〔菩薩の学校〕

〔テクノボーの発想〕

四 最澄から銀河鉄道の発想は生まれている……………207

おわりに……………209

## 二、「海鳴り」

- 「銀河鉄道の夜」へ至る内面の旅——……………215
- はじめに —「書く」という旅——……………216
- すべての命はつながった一つの命である……………217
- 銀河鉄道とは輪廻をこえる乗物……………220
- 「銀河鉄道の夜」の発想を促す内部への旅……………221
- 気付きの旅「二二六 海鳴り」……………222
- 浄化の記録……………229
- 「海鳴り」について……………233
- ◇題名「海鳴り」は彼方からの声
- ◇浄化の海へ向かう——第一連
- ◇自然界の癒しに身を投げ出す姿——第二連
- ◇浄化された心境——第三連
- ◇伝教大師の悲願の想起——第四連
- ◇「なつかしさ」はエロスとなる——第五連
- おわりに……………239

(付録)

天気輪の柱

——ジヨバンニは誰か——	241
天気輪の柱とは何か	242
七つのチャクラと魂の浄化進化	246
無意識の大海に咲く白いマグノリアの花	248
赤いマグノリアの樹 —— ユングの夢 ——	250
全人を進化へ導く乗り物が銀河鉄道	252

あとがき

.....  
254

〔初出一覧〕

〔図版・資料 協力提供〕